

| No | テーマ | 学修到達目標 | 内容 | 課題 |
|-----|-----------|---|---|--|
| 第1講 | 教材開発 | <ul style="list-style-type: none"> 教材の重要性が理解できる。 教材開発のプロセスを説明できる。 | 教材の意味、教材開発のプロセスについて学ぶ。 | <ol style="list-style-type: none"> 教材の重要性について説明しなさい。 教材開発のプロセスについて整理しなさい。 |
| 第2講 | 学習者のニーズ | <ul style="list-style-type: none"> 学習者のニーズについて理解できる。 ニーズと学習目標について説明できる。 | 学習者のニーズを具体的な学習目標に結びつけること、教育現場の課題に対応し教育の質を向上させることについて学ぶ。 | <ol style="list-style-type: none"> 学習者のニーズについて整理しなさい。 ニーズと学習目標についてまとめなさい。 |
| 第3講 | 学習目標と行動目標 | <ul style="list-style-type: none"> 学習目標と行動目標について理解できる。 学習目標および行動目標と教材開発について説明できる。 | 学習目標と行動目標が教育の質を高めるための不可欠な要素であり、教材開発においてこれらの目標を明確に設定し、効果的に連携させることについて学ぶ。 | <ol style="list-style-type: none"> 学習目標と行動目標について整理しなさい。 学習目標および行動目標と教材開発の関係について整理しなさい。 |
| 第4講 | 教材の構成 | <ul style="list-style-type: none"> 教材開発の観点から見た教材の構成について理解できる。 教材の設計手法について説明できる。 | 教材開発において、学習者のニーズなどの要素を総合的に考慮し、学習目標、学習内容、学習者の特性、利用可能なリソースなどを踏まえた上で、最適な | <ol style="list-style-type: none"> 教材開発の観点から見た教材の構成について説明しなさい。 教材の設計手法について整理しなさい。 |

| | | | | |
|-----|----------------|---|--|---|
| | | | 教材構成を設計することについて学ぶ。 | |
| 第5講 | マルチメディア教材 | <ul style="list-style-type: none"> マルチメディア教材を構成する主要な要素とその特徴について理解できる。 AIと学習データを活用したアダプティブ教材について説明できる。 | マルチメディア教材が、多様なメディア、メタバース、AIを組み合わせることで、実生活に即したシミュレーション、インタラクティブな要素、個別化学習などを実現できることについて学ぶ。 | <ol style="list-style-type: none"> マルチメディア教材を構成する主要な要素とその特徴について整理しなさい。 AIと学習データを活用したアダプティブ教材について説明しなさい。 |
| 第6講 | メタバースの活用 | <ul style="list-style-type: none"> 教材開発とメタバースの関係について理解できる。 メタバースの歴史について理解できる。 | メタバースの最も魅力的な特徴の一つである仮想空間が提供する没入感を活用した教材開発について学ぶ。 | <ol style="list-style-type: none"> 教材開発とメタバースの関係について説明しなさい。 メタバースの歴史について整理しなさい。 |
| 第7講 | バーチャルスクール | <ul style="list-style-type: none"> バーチャルスクールの概要を理解できる。 バーチャルスクールのメリット・デメリットについて説明できる。 | バーチャルスクールの概要、および、メリット・デメリットについて学ぶ。 | <ol style="list-style-type: none"> バーチャルスクールの概要について説明しなさい。 バーチャルスクールのメリット・デメリットについて整理しなさい。 |
| 第8講 | 個別最適化された学習の可能性 | <ul style="list-style-type: none"> 個別最適化と協働学習について理解できる。 メタバースでの遠隔協働学習について説明できる。 | 地理的環境条件の異なる小学校の5年生を対象とした遠隔協働学習において、「指導の個別化」と「学習の個性化」を仮想的な環境で実現できる可能 | <ol style="list-style-type: none"> 個別最適化と協働学習について整理しなさい。 メタバースでの遠隔協働学習について説明しなさい。 |

| | | | | |
|------|-----------|---|---|---|
| | | | 性について学ぶ。 | |
| 第9講 | 表現力の育成 | <ul style="list-style-type: none"> ・メタバースが表現力を高める可能性を理解できる。 ・メタバース授業の概要について説明できる。 | 現実世界で発言をためらう子供でも、アバターを通して自分の意見を表明したり、感情豊かに演じたりすることが可能になり、表現力の育成につながるについて学ぶ。 | <ol style="list-style-type: none"> 1. メタバースが表現力を高める可能性について説明しなさい。 2. メタバース授業の概要について説明しなさい。 |
| 第10講 | 地域学習 | <ul style="list-style-type: none"> ・文化遺産学習とメタバースの利用について理解できる。 ・メタバースを利用した授業例について説明できる。 | 地理的な制約や天候に左右されることなく、いつでも史跡の疑似体験が可能となる仮想空間「沖縄の学習・観光の部屋」を利用した学習について学ぶ。 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 文化遺産学習とメタバースの利用について説明しなさい。 2. メタバースを利用した授業例を考えなさい。 |
| 第11講 | プロジェクト型学習 | <ul style="list-style-type: none"> ・高等教育における教育 DX と観光 DX の学習の概要を理解できる。 ・メタバースにおける観光情報提供の仕組みの概要を理解できる。 | 下呂温泉メタバースを利用した教育 DX と観光 DX の学習の概要について学ぶ。 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等教育における下呂温泉メタバースを利用した教育 DX と観光 DX の学習の概要を整理しなさい。 2. 下呂温泉メタバースにおける観光情報提供の仕組み整理しなさい。 |
| 第12講 | 海洋教育 | <ul style="list-style-type: none"> ・「海洋教育の部屋」の設計の概要を理解できる。 ・「海洋教育の部屋」の活用方法について説明できる。 | 特別支援教育における仮想空間「海洋教育の部屋」の活用について学ぶ。 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 「海洋教育の部屋」の設計の概要を整理しなさい。 2. 「海洋教育の部屋」の活用方 |

| | | | | |
|------|--|---|---|---|
| | | | | 法について説明しなさい。 |
| 第13講 | 日本語教育 | <ul style="list-style-type: none"> ・日本語指導の現状と課題について理解できる。 ・日本語教育用教材開発の意図と工夫について説明できる。 | 日本語教育におけるメタバー スを利用した民話を素材とす る多言語教材の活用について 学ぶ。 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 日本語指導の現状と課題に ついて説明しなさい。 2. 日本語教育用教材開発の意 図と工夫について整理しなさい。 |
| 第14講 | メタバー ス開発 | <ul style="list-style-type: none"> ・メタバー スプラットフォームについて理解できる。 ・メタバー ス制作の工程について理解できる。 | メタバー スプラットフォーム、 および、メタバー ス制作の工程 について学ぶ。 | <ol style="list-style-type: none"> 1. メタバー スプラットフォームについて説明しなさい。 2. メタバー ス制作の工程につ いて整理しなさい。 |
| 第15講 | 3D モデ リングと モーシ ョンキ ャプ チャー | <ul style="list-style-type: none"> ・3D モデ リングについて理解できる。 ・モーシ ョンキ ャプ チャーについて理解できる。 | 3D モデ リング、および、モー シ ョンキ ャプ チャーについて 学ぶ。 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 3D モデ リングについて説 明することができる。 2. モーシ ョンキ ャプ チャーにつ いて説明することができる。 |